

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月31日
長野地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	9	課題区分	C		
実施機関	商工観光課		担当課	所属	商工観光課
事業名	果物の新商品開発支援事業		電話	026-234-9528	
			E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	食品産業製造品出荷額等が県内1位という長野地域の強みを生かせるよう、果物を生かした新商品の開発について、宿泊業や飲食業などの実需者のニーズを踏まえて企画から販売までを支援する。			
	現状と課題	長野地域は、県下最大の果物生産地であり、また果物を使った飲料やジャムなどの加工食品の開発に取り組む事例も多いが、以下の課題を抱えている。 (1) 果物の加工食品は、数十年前から当地域及び全国の他地域においても取組んでおり、マンネリ化している(特に、ジュース、ジャム、菓子、調味料など)。 (2) 新商品の開発案件の中には買い手の視点が不足しているため販売が思わしくない。 (3) 食品の本来の価値である食味、栄養等は外見からはわからず、また、地域の良いイメージを商品イメージに取り込めていない場合が多い。 (4) 商品化のための0次加工(皮むき、種取など)を行う事業者が不足。			
概要	内容 (変更後の内容)	(1) 果物新商品開発チームによる支援 企画から販売まで、事業者の課題や消費者ニーズ等に応じて果物新商品開発支援チームが支援 (2) 新鮮な食感を残し長期保存可能な新商品開発支援 新鮮な食感を残し長期保存が可能な加工食品の特徴を活かした、新たな市場展開等を支援			
	事業期間	平成31年4月1日		～	令和2年3月31日
等	成果目標 (成果指標)	果物を活用した新商品の開発を支援することにより、長野地域の果物加工食品の付加価値向上を図る。また、広域的な販路開拓支援を行うことにより、長野地域果物を活用した加工食品のブランディング効果、認知度向上につなげる。			

事業費等	(単位:円)			
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考
	果物の新商品開発等支援事業	昨年度試作したコンポートを活用する	12,377	・果物冷蔵保管 ・モニターサンプル送付費
	合 計		12,377	

事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価
	1 果物新商品開発チームによる支援 (1) 飯綱町ふるさと振興公社の事業拡大に伴う新商品開発意向に対し、県支援策等を紹介 (2) 高山村特産品開発プロジェクトを村と連携し、商品化に向けたアドバイス及び技術課題解決に向けて工業技術総合センター等と連携 2 新鮮な食感を残し長期保存可能な新商品開発支援 継続的な支援及びPRにより、コンポート取扱希望者の開拓に繋がり、メーカーと取扱希望者の商談の場を設けた。	1 (1) 新商品開発を行うステージに移行した際はスムーズな支援が行えるように態勢を整えた。 1 (2) 技術課題の解決又は解決の目途が立ち、商品化への道筋が立った。また、センター施設見学により一層商品開発意欲が高まった。 2 来年度以降の商品流通を目指し、開発段階から消費者を見据えた意見を受けられた。	○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下

今後の方向性 継続的な支援を行うことにより、新商品の販売を目指す。